

総 会 決 議

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮し、三大都市圏を結ぶ日本中央回廊を形成するとともに、東京・大阪間の二重系化による災害に強い国土の形成に寄与するなど、わが国の新たな国土の大動脈として経済社会を支える国家的プロジェクトである。

このリニア中央新幹線が建設され、神奈川県駅が「橋本駅付近」に設置されることは、本県の産業・経済・文化の一層の発展に寄与し、持続可能な神奈川の県土づくりに大きく貢献するとともに、中間駅が設置される４県（神奈川県、山梨県、長野県及び岐阜県）が連携した取組を進めることで、日本中央回廊の核となる新たな広域圏の形成にもつながるものである。

リニア中央新幹線は、品川・名古屋間の早期整備に向け、沿線各地で工事が進められている。本県においても、川崎市内では、大深度地下シールドトンネルの掘進が行われており、相模原市内では、山岳部トンネルの掘削や、地下駅となる神奈川県駅の工事、車両基地の造成工事が進められるなど、着実に事業進捗が図られている。

早期整備に向けては、事業者である東海旅客鉄道株式会社において、引き続き、着実に工事を進めていただくとともに、関係者が一体となって推進していく必要がある。

よって、我々は、ここに本期成同盟会の事業目的の趣旨に則り、次の事項の実現に向けて、一致協力して強力な運動を展開するものとする。

- 1 工事実施計画に基づき着実に事業を進め、早期整備を図ること。
特に、静岡工区について、東海旅客鉄道株式会社は、地域の理解のもと、早期着手を図り、その上で、開業時期を示すこと。
また、国は、国家的プロジェクトを推進する立場で、引き続き積極的に関与すること。
- 2 全線の早期整備のための具体策について検討を進めること。
- 3 リニア中央新幹線神奈川県駅や車両基地等の設置については、地元自治体のまちづくりの意向や地域住民の要望を十分反映させ、地域の発展に資するよう努めること。
- 4 全国との交流連携の窓口にふさわしい魅力ある駅となるよう、ターミナル駅と同等の停車本数を確保すること。
- 5 駅・車両基地・変電施設・非常口及び本線などの整備にあたっては、周辺への環境影響を可能な限り低減するよう必要な措置を講じること。また、移転者等の生活再建に配慮するなど、地元の理解が得られるよう、十分な情報提供や適切な説明を行うとともに、丁寧な対応に努めること。
- 6 建設工事の発注にあたっては、円滑な事業進捗が図られるといった地元企業が携わる利点を踏まえ、受注機会の拡大に配慮するなど、地域の活性化に資するよう努めること。
- 7 建設工事を進めるにあたっては、地域住民に対して丁寧な説明を行うとともに、適切に施工管理等を実施し、安全確保や生活環境の保全に万全を尽くすこと。
不測の事態が発生した際は、関係自治体との迅速かつ緊密な情報共有を行い、原因究明の徹底とともに、地域住民と協議し、必要な対策を講じること。
また、近年、土砂災害が頻発していることから、地域住民の不安が生じないよう、盛土等が伴う建設工事の安全確保や建設発生土の適正な処分などに努めること。

以上決議する。

令和８年７月１７日

リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会